

令和6年6月26日
北海道開発局**「地域共創インフラツアー」第四弾！**

～地域と共に創り上げるストーリー性のあるインフラツアーを企画・催行する旅行会社を募集～

北海道開発局では、公共施設（インフラ）を観光活用することにより地域活性化に貢献するとともに、インフラへの理解を深めていただくことを目的に、インフラツーリズムに取り組んでいます。

このうち、「インフラが支えた地域発展の歴史」を柱に、地域の「歴史、産業、文化、食」といった様々な要素を取り入れ、地域と調整しながらストーリー創りを行い、関係機関と連携してツアーを実施していくことで、インフラを観光資源とし、地域活性化のためのツールの一つとして幅広く活用されることを目指した「地域共創インフラツアー」を実施します。

第四弾として、釧路編と釧根編の企画について、ツアーの催行を希望する旅行会社を下記のとおり募集します。

記

1 ツアーテーマ

(釧路編)「釧路川と釧路発展の基盤となった産業の歴史」

(釧根編)「日本の酪農を支える釧根地域を学ぶ」

2 募集期間 令和6年6月26日(水)～令和6年7月12日(金)

3 申込方法等 応募要領、申込様式、申込先等については、北海道開発局HPをご参照ください。

URL: <https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/renkei/splaat000001lr55.html>

4 企画内容等 詳細は別紙をご参照ください。

※ 第三弾と催行応募要領が異なりますので、必ずご確認の上、ご応募願います。

※ 第五弾については、準備が出来次第、募集を開始しますので、改めてお知らせします。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話(代表) 011-709-2311

開発監理部 開発連携推進課 開発企画官 渡部 成人(内線 5433)

開発監理部 開発連携推進課 上席専門官 杉山 隆一(内線 5837)

開発監理部 開発連携推進課 早川 弘華(内線 5442)

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

令和 6 年度 地域共創インフラツアー 対象テーマと予約枠

ツアーテーマ		定員	時期	予約枠数
釧路編	釧路川と釧路発展の基盤となった産業の歴史	15～20	8～9月の土日	全1回
釧根編	日本の酪農を支える釧根地域を学ぶ	15	8～9月の平日	全1回

各テーマの詳細、メニューリスト、周辺マップは次ページ以降をご覧ください。

地域共創インフラツアー（釧路編）

釧路川と釧路発展の基盤となった産業の歴史



- ◆明治期に開発された弟子屈町アトサプリの硫黄鉱山は、資源輸送のための鉄道施設、釧路の炭鉱・港湾の発展を促し、現在に続く産業都市の基盤を築きました。
- ◆硫黄の蒸気製錬に必要な水を得やすく、製品輸送にも利便性のある標茶の釧路川沿いに硫黄の製錬場が建設され、採掘された硫黄は釧路川を下り、船により釧路へ輸送されました。
- ◆釧路の産業発展に寄与した釧路川を上流から下流へたどり、開発建設部職員と学芸員の解説によりその歴史を学びます。

予 約 枠 8～9月の土日に1回（日程は調整の上で決定）

ツアー定員 15～20名程度

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

📌 ここがポイント！

☆釧路開発建設部と釧路市立博物館の連携により、開発建設部職員と学芸員による、ツアー参加者限定の解説付きで各施設を見学できます。

☆通常は内部公開していない「旧岩保木水門」の中に入り、少人数でじっくり見学することができます。

メニューリスト

ツアーを企画する際は、以下の「メニューリスト」のうち☆印は必須の見学スポットですが、その他グルメ、観光スポットなどを任意で行程に組み入れていただけます。【 】は所要時間の目安です。

① 硫黄山・安田釧路鉄道跡（☆）【80分】

硫黄採掘・運搬の歴史、線路跡を見学。

② 標茶製錬場跡

標茶製錬場跡を車窓から見学。

③ 新釧路川左岸堤防道路（☆）【20分】

新釧路川の左岸側から釧路湿原を見学。

④ 旧岩保木水門（☆）【30分】

旧岩保木水門を開発建設部職員の解説により見学。

⑤ 材木町（☆）

原木輸送路としての釧路川を車窓から見学。

※見学施設は全て解説付きです。 ※釧路市発着の日帰りツアーとしての催行を推奨します。

見学可能な施設



地域共創インフラツアー（釧根編） 日本の酪農を支える釧根地域を学ぶ



◆本ツアーでは、日本の酪農を支える釧根地域における、家畜飼料原料の輸入拠点である釧路港、飼料原料の貯蔵施設－生乳生産・加工－道外へ生乳輸送までの道のりをたどりつつ、物流基盤である道路、港湾のインフラ整備状況・効果なども併せて体験していただけます。

予 約 枠 8～9月の平日に1回（日程は調整の上で決定）

ツアー定員 15名

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

📌 ここがポイント！

- ☆明治以来、釧根地域の産業とともに発展を遂げてきた釧路港をスタート地点として、牛乳ができるまでの流れを順にたどりつつ、生産過程と物流の流れを一体的にツアーで体験していただけます。
- ☆RORO船「ほくれん丸」を間近で見学できるのは道内では釧路港だけ！
- ☆開通前の北海道横断自動車道（釧路西IC）を解説付きで見学。高速道路上を歩けるのは今だけ！

メニューリスト

ツアーを企画する際は、以下の「メニューリスト」のうち☆印は必須の見学スポットですが、その他グルメ、観光スポットなどを任意で行程に組み入れていただけます。【 】は所要時間の目安です。

① 西港区第2埠頭地区国際物流ターミナル（☆）【30分】

釧路港の役割・利用状況を解説を聞きながら見学。

② 三ツ輪運輸飼料原料貯蔵施設（☆）【50分】

家畜飼料原料の巨大な貯蔵施設を見学。

③ 仁成ファーム（☆）【45分】

大規模農場の先端施設を見学。

④ よつ葉乳業（株）根釧工場（☆）【40分】

会議室にて工場概要を説明。動画による製造工程を視聴。

⑤ 北海道横断自動車道（釧路西IC）（☆）【40分】

開通前の道路の整備状況を見学。

⑥ ほくれん丸（☆）【60分】

トラックでの荷物積み込み作業を船内で見学。

※見学施設は全て解説付きです。 ※釧路市発着の日帰りツアーとしての催行を推奨します。

○見学可能な施設



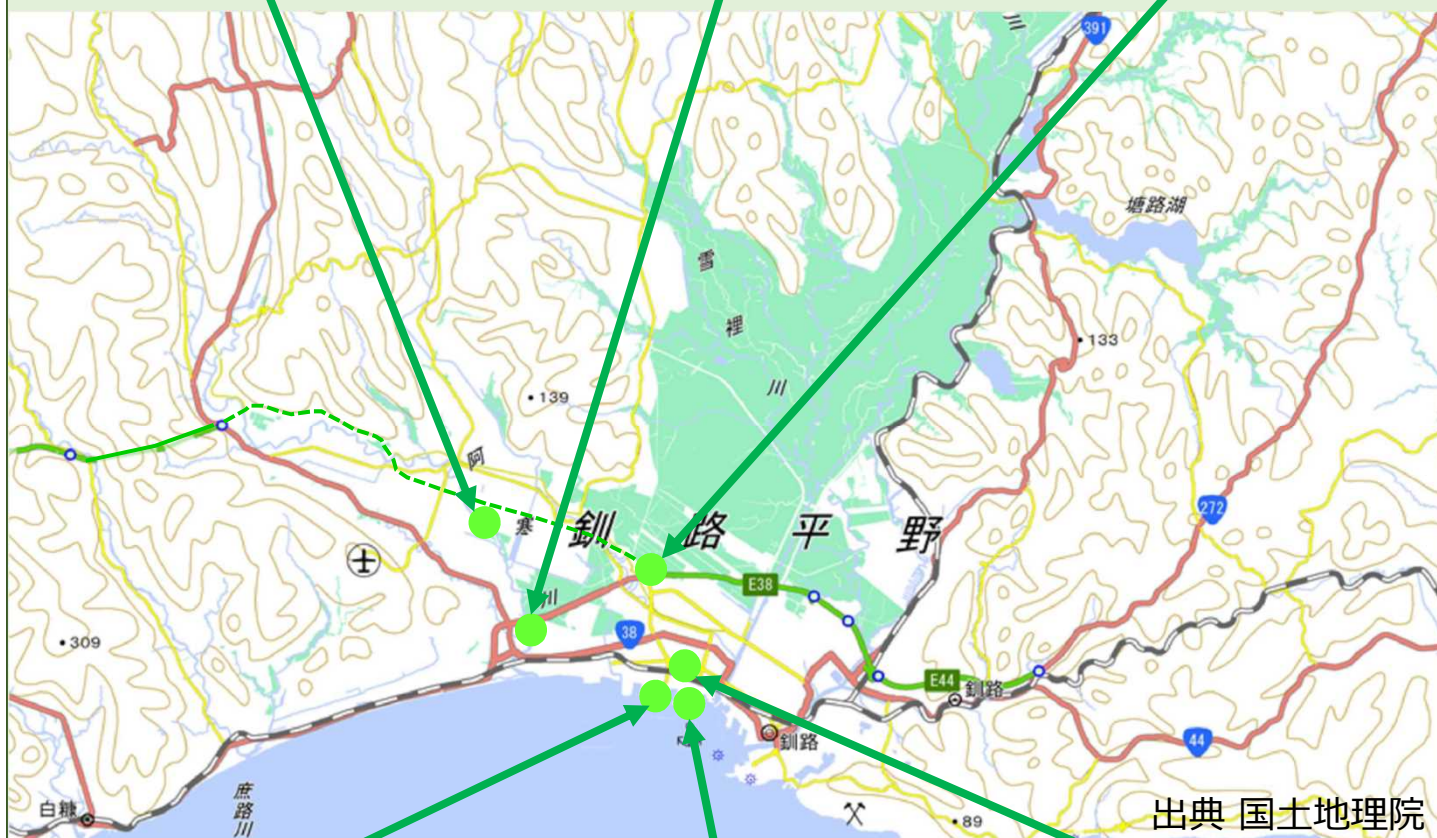
仁成ファーム



よつ葉乳業(株)根釧工場



北海道横断自動車道
釧路西 I C



出典 国土地理院

ほくれん丸



西港区第2埠頭地区
国際物流ターミナル



三ツ輪運輸飼料原料貯蔵施設

